

小学校第4学年 国語科と社会科での教科横断的な授業

単元名 国語「不思議ずかんを作ろう」、社会「地域で受けつがれてきたもの」

国語科

社会科

【単元計画の見直し】

- ・児童の「興味・関心」が十分に引き出せるか。
- ・自分自身の課題について意欲的に取り組むことができるか。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」が確保されているか。

○自分で学び方を自己決定する授業
・興味関心をもとに学習が進められる工夫

文化財・年中行事について

町の文化財について

図鑑のつくりについて

【調査活動①】

- ししまいの
- ・何について
 - ・何を使って
 - ・誰と
 - ・どのように 調べる。

情報の共有

ゲストティーチャー

【調査活動②】

- ししまいの
- ・何について
 - ・何を使って
 - ・誰と
 - ・どのように 調べる。

情報の共有

ゲストティーチャー

【図鑑づくり】
ししまいの
・何について
・どの写真で
・どのように工夫して
書く。

一人一人の「興味・関心」
によって作られた様々な種類
の図鑑を読み合う。

ししまい図鑑

作：弟子屈小学校4年生
令和5年11月完成

【実践】自分たちの身近な文化財について調べ（社会科）、図鑑を作る（国語科）。

○社会科『地域で受けつがれてきたもの』と国語科『不思議ずかんを作ろう』を合わせた単元構成を構築。



自分たちの地域にある文化財『ししまい』について知りたい。

○子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業
・課題の明確化
・ゴールの設定と共有

調べてわかったことをまとめて図鑑を作る。

【児童の学びの姿】

4時間目 ○学習計画（調べる計画）を立てて、しようほうをあつめよう。

学習計画とは
-何を調べるか -どのように調べるか -どのように学習を行うか -どこで調べるか -協力してもらいたい人は誰か

<自分の学習計画>
ししまいの、

学習計画
ししまいの調りについて調べる前に、インターネットで調べてみる。

いい いくつかが動画をくらべてみながら、知っている人の人数のちがいをさがす。

いい 同じテーマの友だちと話し合いをする。

いい 一つのししまいをえらんで、調りの動きをわくしく調べる。

4時間目

5時間目

6時間目

5時間目

6時間目

4	【一人での学習】※ひつような時に友達や先生をたよみましょう。	
5	○自分が決めたことについて調べる。	
6	・ふり返りを次の時間のこじん課題にいかそう。	
4時間目	5時間目	6時間目
①計画をつくる	①計画を見直す	①計画を見直す
②こじん課題	②こじん課題	②こじん課題
③調べ	③調べ	③調べ
④ふり返り	④ふり返り	④ふり返り

○子どもが「自分（たち）で学び取る」授業
・単元の中に、個別の課題について取り組む活動を設定する。自ら計画を立て、学習方略について振り返ることで、次時の学びに繋げている。
・学習方略を自己決定し、個別と協働を往還しながら、同じテーマについて調べている友達とインターネットを使って一緒に調べる。

○学習環境の自己決定
・学校の図書館に行って本を見ながら調べてみよう。

【教師の支援や働きかけ・環境の整備】

- ・パーソナルラーニングブックの作成（児童用に作られた単元計画、評価規準、ワークシート、振り返り等が一体となったもの）
- ・ゲストティーチャーへの協力依頼
- ・情報収集用にロイロノートで写真、動画の共有
- ・見通しとゴールの共有目的として、成果物の例やチェックリストの作成

